

## 異邦人

イエスさまの弟子たちが、元気づいて人びとにむか

って、イエスさまのことを話しはじめたとき、大きな

問題ができました。それは、ユダヤ人だけでなく、

異邦人も仲間に入れることができるのかということ

でした。

当時のユダヤの社会では、ユダヤ人以外のものを

異邦人と呼んでしました。そして、異邦人は神を受け

入れようとしないう人びとで、神さまの救いに入ること

ができない人と考えていました。

それに対して、ユダヤ人は神さまからいつも守られ

ていて、神さまは決して見すてられないと考えてい  
ました。

しかし、イエスさまの死後、イエスさまをキリスト

と信じる人たちの仲間が、エルサレムにとどまること

なく、ユダヤ以外の社会にも出かけていくようになり、

ユダヤ人でない人も、仲間に加わるようになりました。

そこで、ある人たちは、異邦人たちも、ユダヤ人と同

じ規則を守って、ユダヤ人と同じ生活をしないといけ

ないと言いました。

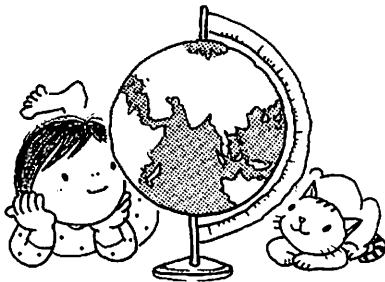
ちようどそうしたときに、ペトロは、異邦人である

コルネリオという人と知り合い、仲間として受け入れるできごとがありました。ユダヤ人だけが救いを受けるといふ考えが、まちがったものであることを、ペトロたちは気づきました。

ペトロたちは、はじめは、自分たちユダヤ人だけが、特別神さまから愛された民族だと考えていましたが、そうした考えは、せまい考えだと気づきました。神さまの愛は、もつともつと大きいのです。

どのようにしたら、いつもなかよくしている人以外の人を受け入れることができるのか、考えたことを

次の空白に書いて下さい。



A large empty rectangular box for writing.